

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	吉備国際大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
社会科学部	経営社会学科	夜・通信	14		71	85	13		
	スポーツ社会学科	夜・通信			100	114			
保健医療福祉学部	看護学科	夜・通信			140	154			
	理学療法学科	夜・通信			100	114			
	作業療法学科	夜・通信			105	119			
	社会福祉学科	夜・通信			0	14			
心理学部	心理学科	夜・通信			82	96			
	子ども発達教育学科	夜・通信			102	116			
アニメーション文化学部	アニメーション文化学科	夜・通信			92	106			
農学部	地域創成農学科	夜・通信		12	2	58		72	
	醸造学科	夜・通信				72		86	
外国語学部	外国学科	夜・通信		10		48		58	
通信教育部心理学部	子ども発達教育学科	夜・通信				14		14	
(備考) ※教育課程が学年進行している学科については下記により計上した。 経営社会学科：1年：2022カリキュラム、2年：2021カリキュラム、3～4年2017カリキュラム スポーツ社会学科：1年：2022カリキュラム、2～4年2019カリキュラム 看護学科：1年：2022カリキュラム、2～4年2019カリキュラム									

<p>理学療法学科：1年：2022カリキュラム、2～3年2020カリキュラム、4年2017カリキュラム 作業療法学科：1年：2022カリキュラム、2～3年2020カリキュラム、4年2017カリキュラム 心理学科：1年：2022カリキュラム、2～4年2019カリキュラム アニメーション文化学科：1年：2022カリキュラム、2～3年2020カリキュラム、4年2018カリキュラム 地域創成農学科：1年：2022カリキュラム、2～4年2018カリキュラム 醸造学科：1年：2022カリキュラム、2～4年2018カリキュラム 外国学科：1年：2022カリキュラム、2～4年2019カリキュラム</p> <p>※学生募集の停止 社会福祉学科（2019年度より） 子ども発達教育学科（2021年度より）</p>
--

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/jitsumukeiken/</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	吉備国際大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人順正学園のホームページにて公表 https://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	ヤマハリテイリング 音楽教室講師	2020.6.1～ 2024.5.31	教育
非常勤	(公財)笹川平和財団 理事長	2020.6.1～ 2024.5.31	コンプライアンス
非常勤	飛島建設(株) 元代表取締役社長	2020.6.1～ 2024.5.31	施設設備
非常勤	黒住教 名誉教主	2020.6.1～ 2024.5.31	地域連携
非常勤	テレビせとうち(株) 相談役	2020.6.1～ 2024.5.31	広報
非常勤	備前市教育庁 教育政策監	2020.6.1～ 2024.5.31	広報
非常勤	(公財)岡山県産業振興 財団 理事長	2020.6.1～ 2024.5.31	産学連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	吉備国際大学
設置者名	学校法人順正学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成については、各学科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーにおける当該科目の位置づけを確認した上で、下記の内容を記載するようフォーマットを統一し、全教員に毎年更新して配付する「シラバス作成の手引き」にもとづき入力するよう徹底している。</p> <p>授業開講の前年度の1月に各教員に作成を依頼し、各教員が入力後、学科ごとに第三者チェックを実施し、指摘された内容について修正を行った上で、学生及び一般にWEBで公開している。シラバスの記載内容、作成のスケジュール、公表については、下記のとおり。</p> <p>【記載内容】授業方法・概要及び授業計画、到達目標、評価方法、自己学修の方法 実務経験のある教員による授業 など</p> <p>【作成のスケジュールと公表】</p> <p>開講の前年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月初旬～1月末…各科目担当教員がシラバス作成。(WEB入力) ・ 2月…学科ごとに学科長を中心にシラバスの第三者チェックを実施 ・ 3月中旬までに修正・確認 ・ 3月22日頃…学生・一般に公開 (WEB検索システムで公表) <p>開講年度の4月以降…シラバス一覧表 (PDF) を本学ホームページで公表</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページにて公表</p> <p>https://kiui.jp/joho/jugyoukeikaku/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については、各科目のシラバスに「評価方法」を必ず記載し、学生に周知している。評価方法としては、筆記試験、レポート、小テスト、授業内の発表等の学習意欲など多面的な方法を用い、各項目の割合を明記し、基準を示している。また令和4年度からは、演習・卒業論文(研究)を対象に、ルーブリック評価を全学的に導入して評価の厳格化を図った。</p> <p>これらの成績評価をもとに、学則に定める成績評価基準に照らして厳格かつ適正な評価を行い、単位を認定している。さらにこの成績評価の検証を行い、改善のためのPDCAサイクルを確立している</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、「履修した授業科目の成績評価は、秀(S) (100～90点)・優(A) (89～80点)・良(B) (79～70点)・可(C) (69～60点)・不可(D) (59～0点)の5段階で評価し、60点以上を合格とする。」と学則に定め、また、成績評価厳格化のため、成績評価の客観的な指標としてGPA制度を導入している。(GPAの算出方法は以下のとおり)

【GPAの算出方法】

学年 GPA =
$$\frac{\text{秀ポイント}(4) \times \text{単位数} + \text{優ポイント}(3) \times \text{単位数} + \text{良ポイント}(2) \times \text{単位数} + \text{可ポイント}(1) \times \text{単位数}}{\text{当該年度中に履修登録した科目の総単位数 (不可・放棄を含める)}}$$

累積 GPA =
$$\frac{\text{秀ポイント}(4) \times \text{単位数} + \text{優ポイント}(3) \times \text{単位数} + \text{良ポイント}(2) \times \text{単位数} + \text{可ポイント}(1) \times \text{単位数}}{\text{在籍期間中に履修登録した科目の総単位数 (不可・放棄を含める)}}$$

※小数点以下第3位を四捨五入し小数点2位まで表記。

ただし、他大学等で修得した単位を単位認定している科目は、修得単位からも履修登録単位数からも除く。

本学においては、このGPAの分布状況を学科ごとに把握、分析するとともに、成績不振者に対する学修指導にも活用している。また、学生及び保護者に配布する成績通知書や外部に提出する成績証明書にもGPAを記載し、自身の成績状況の確認や客観的な指標としての成績評価を示している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/files/uploads/hyouka_gpa.pdf
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定については、学位授与方針(ディプロマポリシー)として、学位を授与するために修得すべき能力を学科ごとに定め、これをもとに、科目ごとに設定された到達目標について評価基準に基づき、厳格な単位認定を行っている。さらに各科目がディプロマポリシーのどの項目に該当するかをカリキュラムマップで示し、科目とディプロマポリシーの関連性を明確にしている。

また、卒業認定の実施にあたっては、科目担当者が評価基準に基づき厳格に行った評価を事務担当部署である教務課において集計し、学科教員及び教務課双方でチェックして作成した卒業判定資料をもとに、学務代議員教授会で審議され、学長が教授会の意見を聴いたのち、適切に卒業認定を行っている。

卒業の認定に関する方針の公表方法	本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/gakka_policy/
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	吉備国際大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2022/06/02r3kessan.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2022/06/02r3kessan.pdf
財産目録	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2022/06/03r3mokuroku.pdf
事業報告書	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2022/06/r3_hokoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://junsei.ac.jp/edu/ctrlj/wp-content/uploads/2022/06/04r3kansu.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/information/selfcheck/index

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/outline/evaluation/index

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 社会科学部、保健医療福祉学部、心理学部、アニメーション文化学部、農学部、外国語学部、通信教育部心理学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ https://kiui.jp/joho/ 及び学生便覧で公表）
（概要） 本学学則第 1 条に「本学は、教育基本法及び学校教育法の本旨にのっとり、国際化社会に向けて学部・学科の学術研究領域に関する理論および社会の問題を研究教授し、応用能力をもつ人格を陶冶することを目的とする。」と定め、学部・学科毎に専門性に沿った教育研究を展開している。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/gakka_policy/ ）
（概要）卒業の認定については、学位授与方針（ディプロマポリシー）を定め、これをもとに、科目ごとに設定された到達目標について評価基準に基づき、厳格な単位認定を行っている。ディプロマポリシーは、「自ら学ぶ力」として、①知識・技能、②情報の活用、③主体的な学びと論理的な思考、「生きぬく力」として④コミュニケーション・表現力、⑤グローバルな視野と地域貢献活動、⑥課題解決力、「可能性を信じる力」として、⑦自己効力感、⑧学科で特に育成する力の 8 つに分類し、学位を授与するために修得すべき能力について学科ごとに方針を定め、科目ごとにディプロマポリシーのどの項目に該当する科目であるかをカリキュラムマップで示している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/gakka_policy/ ）
（概要）ディプロマポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかをカリキュラムポリシーとして定めている。本学では、学科ごとに「教育内容」・「教育方法」・「学修成果の評価法」の 3 項目について具体的に示し、特色ある専門分野の人材育成に取り組んでいる。カリキュラムポリシーを含む 3 つのポリシーについては、本学ホームページに公表するとともに入学時に配付する学生便覧に掲載し、履修指導等の際に学生に周知している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/gakka_policy/ ）
（概要）本学の各学科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、「求める人材像」・「入学者選抜の基本方針」の 2 項目に分け、どのように入学者を受け入れるか、またその選抜方法等について、基本的な方針をアドミッションポリシーとして定めている。 アドミッションポリシーは、本学ホームページに公表するとともに学生募集要項等にも公開し、受験生に周知している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページにて公表 <https://kiui.jp/joho/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
社会科学部	—	7人	6人	5人	2人	0人	20人
保健医療福祉学部	—	15人	12人	8人	2人	0人	37人
心理学部	—	6人	1人	4人	0人	0人	11人
農学部	—	10人	5人	3人	0人	0人	18人
外国語学部	—	7人	2人	4人	0人	0人	13人
アニメーション文化学部	—	4人	3人	1人	0人	0人	8人
通信教育部心理学部	—	1人	1人	1人	0人	0人	3人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			212（うち通信制 39）人				212人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://kiui.jp/joho/index 本学ホームページの教員紹介ページから、リサーチマップの個人ページへリンクさせている。					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
令和3年度は、パソコンの必携化を見据え、第1回「大学教育におけるICT活用について」を、SDGsを指向した教育の推進のために、第2回「SDGsと大学教育」を、対面とオンラインを組み合わせた授業をデザインし、学生に最良な学びを提供するための研修会報告として、第3回「オンライン授業の方法とツール、オンライン授業の特性を理解した上での私見と評価の方法」をテーマに全教職員を対象にFDを実施した。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
社会科学部	180人	102人	56.7%	644人	535人	83.1%	2人	0人
保健医療福祉学部	140人	70人	50.0%	580人	328人	56.6%	10人	13人
心理学部	40人	28人	70.0%	240人	180人	75.0%	0人	0人
農学部	90人	34人	37.8%	364人	201人	55.2%	2人	0人
外国語学部	50人	35人	70.0%	200人	192人	96.0%	0人	0人
アニメーション文化学部	40人	21人	52.5%	160人	130人	81.3%	0人	0人
通信教育部心理学部	—	—	—	130人	55人	42.3%	—	—
合計	540人	290人	53.7%	2318人	1621人	69.9%	14人	13人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
社会科学部	145人 (100%)	7人 (4.8%)	116人 (80.0%)	22人 (15.2%)
保健医療福祉学部	108人 (100%)	1人 (0.9%)	99人 (91.7%)	8人 (7.4%)
心理学部	41人 (100%)	4人 (9.7%)	30人 (73.2%)	7人 (17.1%)
アニメーション文化学部	17人 (100%)	3人 (17.7%)	5人 (29.4%)	9人 (52.9%)
外国語学部	28人 (100%)	1人 (3.6%)	24人 (85.7%)	3人 (10.7%)
農学部	46人 (100%)	1人 (2.2%)	40人 (86.9%)	5人 (10.9%)
通信教育部心理学部	20人 (100%)	()人 (%)	()人 (%)	()人 (%)
合計	405人 (100%)	17人 (4.4%)	314人 (81.6%)	54人 (14.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) 卒業生数に対する割合について、進学者数、就職者数、その他の合計は、卒業生数の合計から通信教育部心理学部を除いた卒業生に対する割合。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
社会科学部	128人 (100%)	110人 (85.9%)	2人 (1.6%)	15人 (11.7%)	1人 (0.8%)
保健医療福祉学部	116人 (100%)	88人 (75.9%)	17人 (14.7%)	11人 (9.5%)	0人 (0.0%)
心理学部	45人 (100%)	34人 (75.6%)	4人 (8.9%)	7人 (15.6%)	0人 (0.0%)
農学部	50人 (100%)	42人 (84.0%)	1人 (2.0%)	7人 (14.0%)	0人 (0.0%)
外国語学部	29人 (100%)	27人 (93.1%)	1人 (3.4%)	1人 (3.4%)	0人 (0.0%)
アニメーション文化学部	14人 (100%)	9人 (64.3%)	0人 (0.0%)	5人 (35.7%)	0人 (0.0%)
通信教育部心理学部	7人 (100%)	3人 (50.0%)	2人 (33.4%)	1人 (16.6%)	0人 (0%)
合計	382人 (100%)	310人 (81.2%)	25人 (6.5%)	46人 (12.0%)	1人 (0.3%)
(備考) 保健医療福祉学部より、社会科学部へ5名転部。なお、その他の1名は留年後転学科した者。 入学者数を社会科学部へ増やして計上している。 合計欄については、昼間において授業を行う学部が通信教育を併せて行っているため、通信教育分は除外し、計算している。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 本学では、各授業科目の授業方法および内容、授業計画については、下記の内容等を記載した統一したフォーマットでシラバスを作成している。各学科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーにおける当該科目の位置づけを確認した上で、全教員に毎年更新して配付する「シラバス作成の手引き」にもとづき入力するよう徹底している。</p> <p>授業開講の前年度の1月に各教員に作成を依頼し、各教員が入力後、学科ごとに第三者チェックを実施し、指摘された内容について修正を行った上で、学生及び一般にWEBで公開している。</p> <p>【記載内容】 授業方法・概要及び授業計画、到達目標、評価方法、自己学修の方法 実務経験のある教員による授業 など</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 成績評価については、各科目のシラバスに「評価方法」を必ず記載し、学生に周知している。評価方法としては、筆記試験、レポート、小テスト、授業内の発表等の学習意欲など多面的な方法を用い、各項目の割合を明記し、基準を示している。これらの成績評価をもとに、学則に定める成績評価基準に照らして厳格かつ適正な評価を行い、単位を認定している。

本学では、「履修した授業科目の成績評価は、秀 (S) (100～90点)・優 (A) (89～80点)・良 (B) (79～70点)・可 (C) (69～60点)・不可 (D) (59～0点)の5段階で評価し、60点以上を合格とする。」と学則に定め、さらに、成績評価厳格化のため、成績評価の客観的な指標としてGPA制度を導入し、GPAの分布状況を学科ごとに把握、分析するとともに、成績不振者に対する学修指導等にも活用している。

また、卒業の認定については、学位授与方針(ディプロマポリシー)を定め、これをもとに、科目ごとに設定された到達目標について評価基準に基づき、厳格な単位認定を行っている。卒業認定の実施にあたっては、科目担当者が評価基準に基づき厳格に行った評価を事務担当部署である教務課において集計し、学科教員及び教務課双方でチェックして作成した卒業判定資料をもとに、学務代議員教授会で審議され、学長が教授会の意見を聴いたのち、適切に卒業認定を行っている。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
社会科学部	経営社会学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
	スポーツ社会学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
保健医療福祉学部	看護学科	127 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
	理学療法学科	127 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
	作業療法学科	127 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
心理学部	心理学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
	子ども発達教育学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
農学部	地域創成農学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
	醸造学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
外国語学部	外国学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
アニメーション文化学部	アニメーション文化学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位
通信教育部心理学部	子ども発達教育学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	49 単位

GPAの活用状況（任意記載事項）	公表方法：
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページにて公表 <https://kiui.jp/joho/index>
資料請求フォーム <https://kiui.jp/docreq/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
社会科学部	経営社会学科	700,000円	300,000円	330,000円	施設設備費
	スポーツ社会学科	760,000円	300,000円	350,000円	施設設備費
保健医療福祉学部	看護学科	1,146,000円	300,000円	350,000円	施設設備費
	理学療法学科	1,146,000円	300,000円	350,000円	施設設備費
	作業療法学科	1,146,000円	300,000円	350,000円	施設設備費
	社会福祉学科	853,000円	－円	350,000円	施設設備費
心理学部	心理学科	803,000円	300,000円	350,000円	施設設備費
	子ども発達教育学科	853,000円	－円	350,000円	施設設備費
農学部	地域創成農学科	1,030,000円	300,000円	350,000円	施設設備費
	醸造学科	1,030,000円	300,000円	350,000円	施設設備費
外国語学部	外国学科	700,000円	300,000円	330,000円	施設設備費
アニメーション文化学部	アニメーション文化学科	700,000円	300,000円	330,000円	施設設備費
通信教育部心理学部	子ども発達教育学科	120,000円	－円	30,000円～	科目登録料 30,000円 スクーリング履修料 5,000円/1単位 地方会場費 3,000円/1単位 実習費 50,000円/1実習

※保健医療福祉学部社会福祉学科、心理学部子ども発達教育学科、通信教育部心理学部子ども発達教育学科は募集停止。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 本学では、スチューデントサポートセンターに学生部と教務部を置き、学生生活と学修の両面から修学支援を行っている。学生部では、奨学金や学生生活全般の支援を行うとともに、留学の支援なども行っている。教務部では成績や履修に関する相談・指導、教職や学外実習などの支援も合わせて行っている。また、ラーニングサポートセンターを組織し、補習授業や語学等の無料講座の開講などの学修支援を行っている。</p> <p>そのほか、2回連続授業欠席した学生のデータを学科教員に提供し、学修を継続していきけるよう早期に指導するなど、退学者対策にも力を注いでいる。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 就職、進学相談に学生一人ひとり個別面談及びWEBでの面談を実施。学生にとってより良い進路が決定できるよう教職員がアドバイスを行っている。また、エントリーシート・履歴書添削、グループディスカッション、集団面接、個別面接など試験対策を個別に行い、また、Teams・Zoomなどを取り入れ就職実践向上を図っている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 高梁キャンパスにおいては、健康管理センターを設置し、学生の心身の健康維持・増進を図っている。センターは、医師・臨床心理士、看護師などの有資格者から構成されており、学生の健康相談などを行っている。また、養護教諭資格者、さらに教務課・学生課、別地キャンパスの担当職員を含めた健康管理センターミーティングを月例で実施し、支援対象学生に関する情報を共有し個別支援に関する格差が生じないようにしている。南あわじ志知キャンパスにおいては、事務室スタッフが高梁キャンパス・南あわじ志知キャンパスの担当教員より助言を受け、非常勤の学校医、臨床心理士と連携しながら支援にあたっている。岡山キャンパスにおいても、養護教諭有資格職員を配置し、カウンセラー有資格者を毎週1日派遣し、個別相談に対応している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/index

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	吉備国際大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		147人	143人	156人
内 訳	第Ⅰ区分	73人	83人	
	第Ⅱ区分	48人	35人	
	第Ⅲ区分	26人	25人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				156人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	一人	0人	一人
「警告」の区分に連続して該当	一人	0人	一人
計	一人	0人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	—人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。